

事務連絡  
令和2年2月28日

都道府県下水道担当課長 殿  
政令指定都市下水道担当課長 殿  
（上記、各地方整備局経由）  
市町村下水道担当課長 殿  
（上記、各都道府県経由）  
日本下水道事業団事業課長 殿  
都市再生機構下水道担当課長 殿

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部  
下水道事業課 事業マネジメント推進室 課長補佐

## 下水道工事における安全管理の徹底について （はさまれによる死亡事故）

本年1月9日、兵庫県神戸市発注の水処理施設の築造工事において、土留支保工の解体作業中、カバープレートをクレーンで吊上げる際に、仮置きしていた鋼材と地面の隙間にカバープレートが入り込み、鋼材の片側が持ち上がったことで、鋼材が転倒し、土留支保工を解体していた作業員が倒れた鋼材にはさまれて死亡するという事故が発生しました。

本省にてヒアリングを行った結果、以下の点で安全対策に不備があったことが確認されました。

- ・合図者が吊上げ開始の合図を行った後、吊り荷が確実に吊上がるまで確認していなかった

本事故の発生状況と再発防止策については、別紙をご確認ください。

各下水道管理者におかれましては、工事現場へのパトロール等を通じ、施工計画書等に基づく作業手順での施工や安全管理の徹底など改めて確認するとともに、安全管理に対する指導を徹底することで受注者の安全意識の醸成を図り、事故の未然防止に努めていただくようお願いします。

# 事故発生状況と再発防止策 (R2.1.9 兵庫県神戸市)

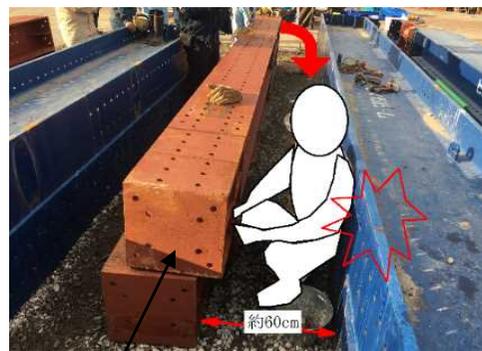
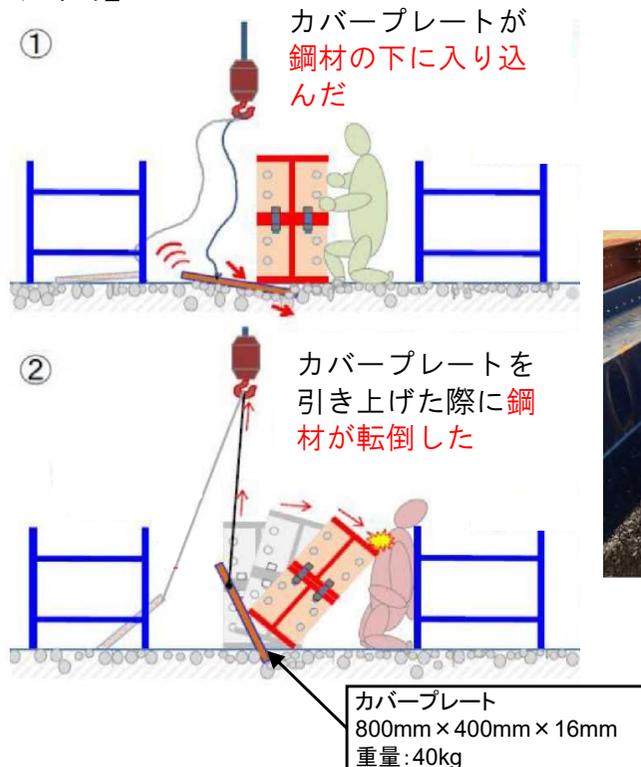
## 【事故発生状況】

- ・ 事故当日は、解体した土留支保工を、場外に搬出するための解体作業を行っていた。
- ・ カバープレートをクレーンで吊上げる際に、仮置きしていた鋼材と地面の隙間にカバープレートが入り込み、鋼材の片側が持ち上がったことで、鋼材が転倒し、土留支保工を解体していた作業員が倒れた鋼材にはさまれた。
- ・ 土留支保工を解体していた作業員は、作業主任者から視認しづらい幅約60cmの狭隘な空間で作業を行っていた。

## 【再発防止策】

1. 合図者は、玉掛けの状況を確認し、吊上げ開始の合図を行った後、吊り荷が確実に吊上がるまで確認する。
2. 作業主任者は、作業全体を見渡せる位置で、作業手順や作業の安全性を監視することを徹底する。

## 【状況図】



転倒した鋼材  
H400mm×400mm L=5.5m×2本  
重量:約2.6t

